

Claude Code の入れ方 ②エディタ VS Code (Windows)

ファイルを見ながら、AI といっしょに作業したい方向けです。無料のエディタ「VS Code」に、拡張機能「Claude Code for VS Code」を入れて使います。

※画面の図は説明用に再現したものです。お使いのパソコンやアプリの版によって、見た目が少し違うことがあります。手順は 2026年10月22日に公式の手順と実物で確認しました。

インストールのリンク（公式）

- VS Code（無料）ダウンロード：<https://code.visualstudio.com/download>
- 拡張機能「Claude Code for VS Code」（Marketplace）：<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=anthropic.claude-code>
- 公式：VS Code で Claude Code を使う：<https://code.claude.com/docs/en/vs-code>
- Claude の料金プラン：<https://claude.com/pricing>

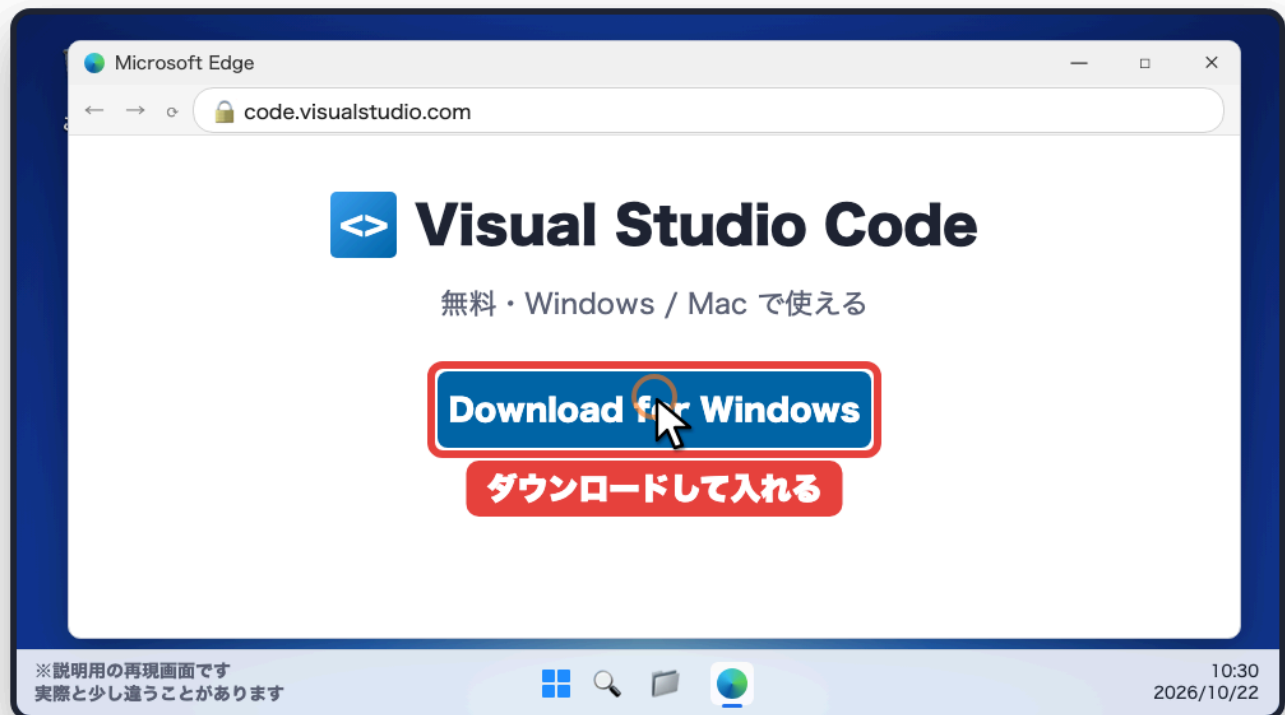
準備するもの

- Windows 10 または 11 のパソコン
- インターネット
- Claudeの**有料プラン**（Proから。無料プランでは Claude Code は使えません）
- 会社のパソコンなら、入れる前に**情シス・総務にひと声**（ソフトを入れられない設定の会社もあります）
- 練習用のフォルダ「AIの練習」（①の手順書の1～2と同じ）

手順

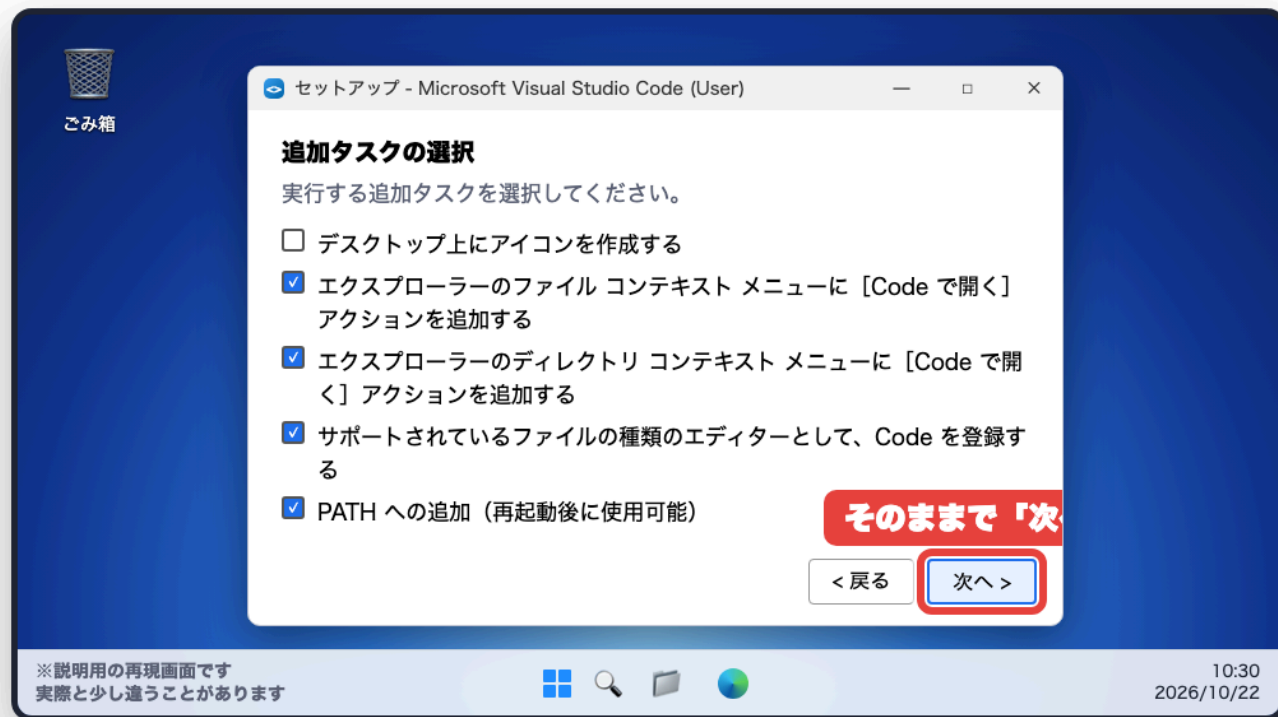
1 VS Code をダウンロード

code.visualstudio.com を開いて「Download for Windows」。無料です。



2 インストーラーを進める

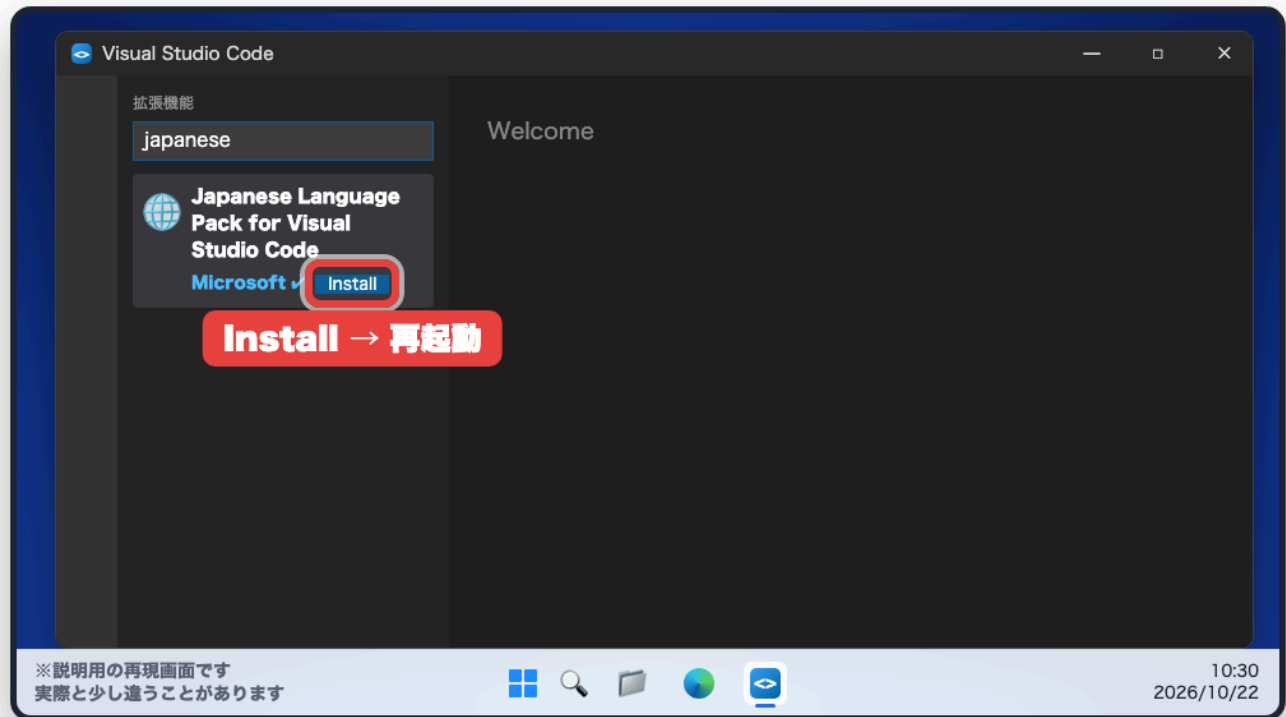
ダウンロードしたファイルを開き、「同意する」→「次へ」で進めます。「追加タスクの選択」はそのまま「次へ」→「インストール」→「完了」。



💡 「PATH への追加」にチェックが入っていれば OK（あとで使うことがあります）。

3 日本語にする（拡張機能で）

最初は英語の画面です。左の拡張機能（Ctrl+Shift+X）で **japanese** と検索し、地球儀のマークの「**Japanese Language Pack for Visual Studio Code**」（Microsoft）を Install → VS Code を再起動すると日本語になります。

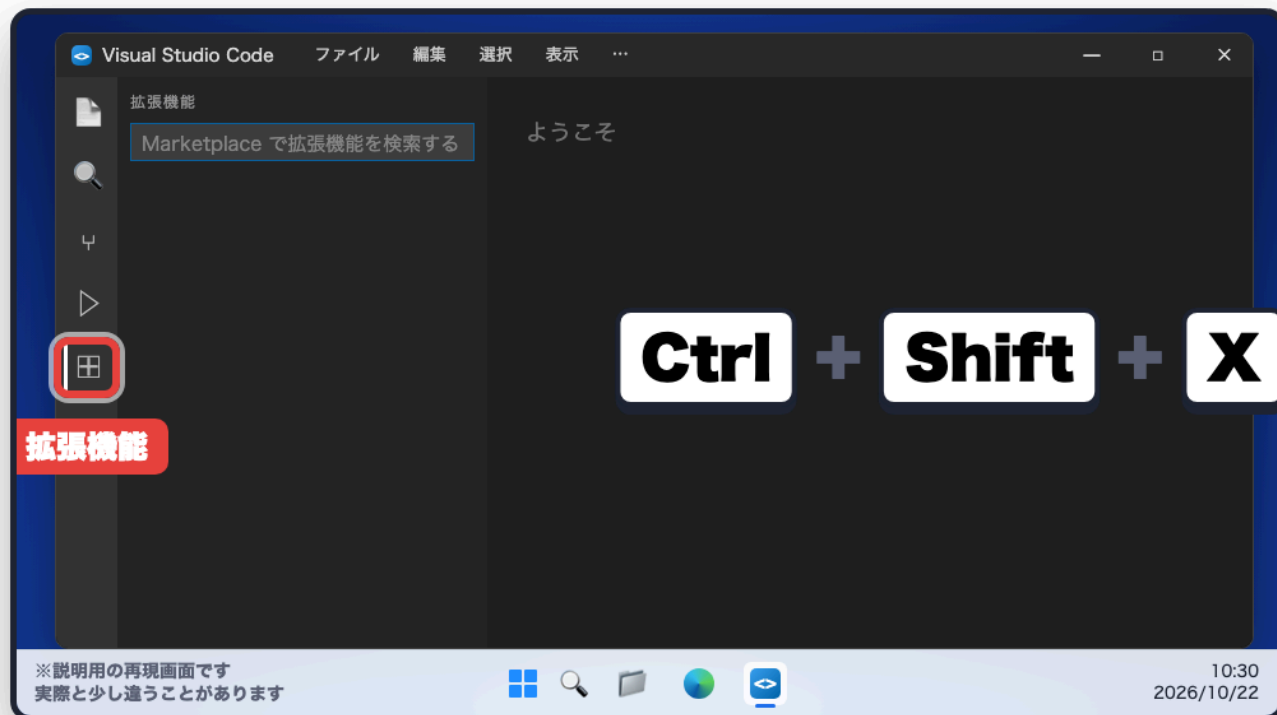


💡 右下に「表示言語を日本語に変更するには…」と出たときは、「インストールして再起動」を押しても同じです。

4

Ctrl+Shift+X で「拡張機能」を開く

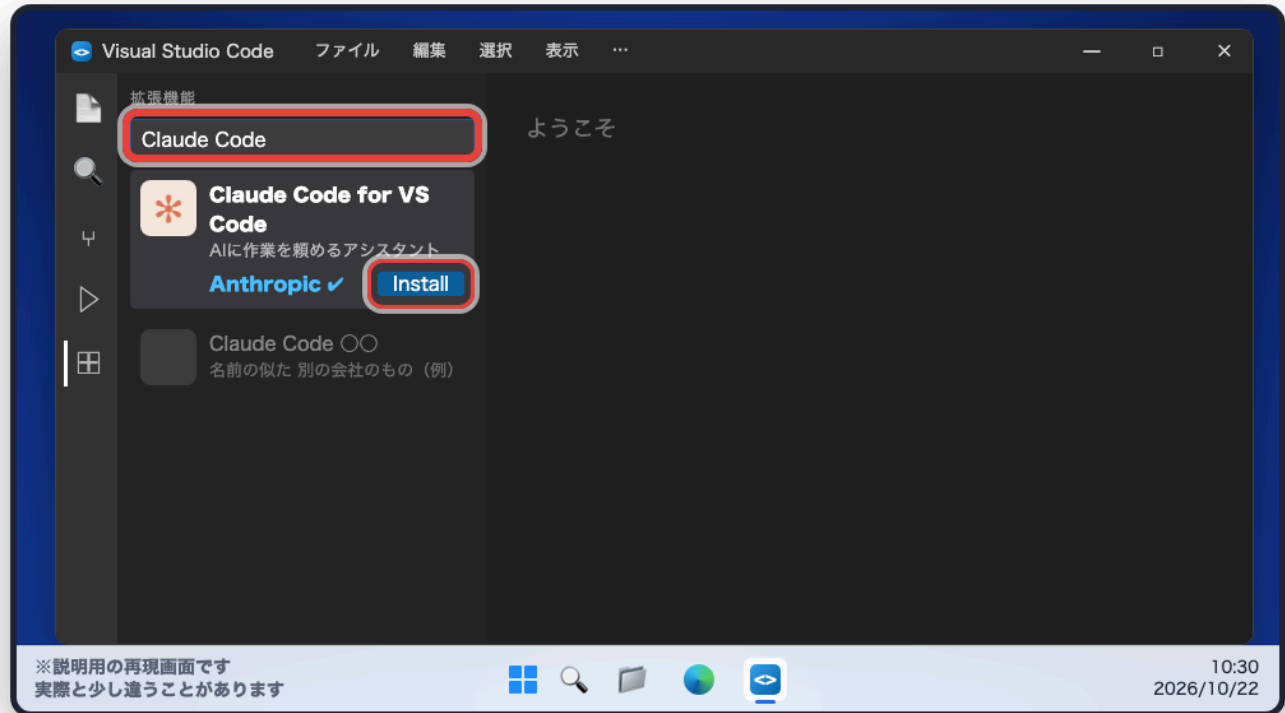
左に、拡張機能（追加の機能）を探す画面が出ます。



5

「Claude Code」を検索して「Install」

検索の欄に **Claude Code** と入力。「Claude Code for VS Code」の「Install」を押します。

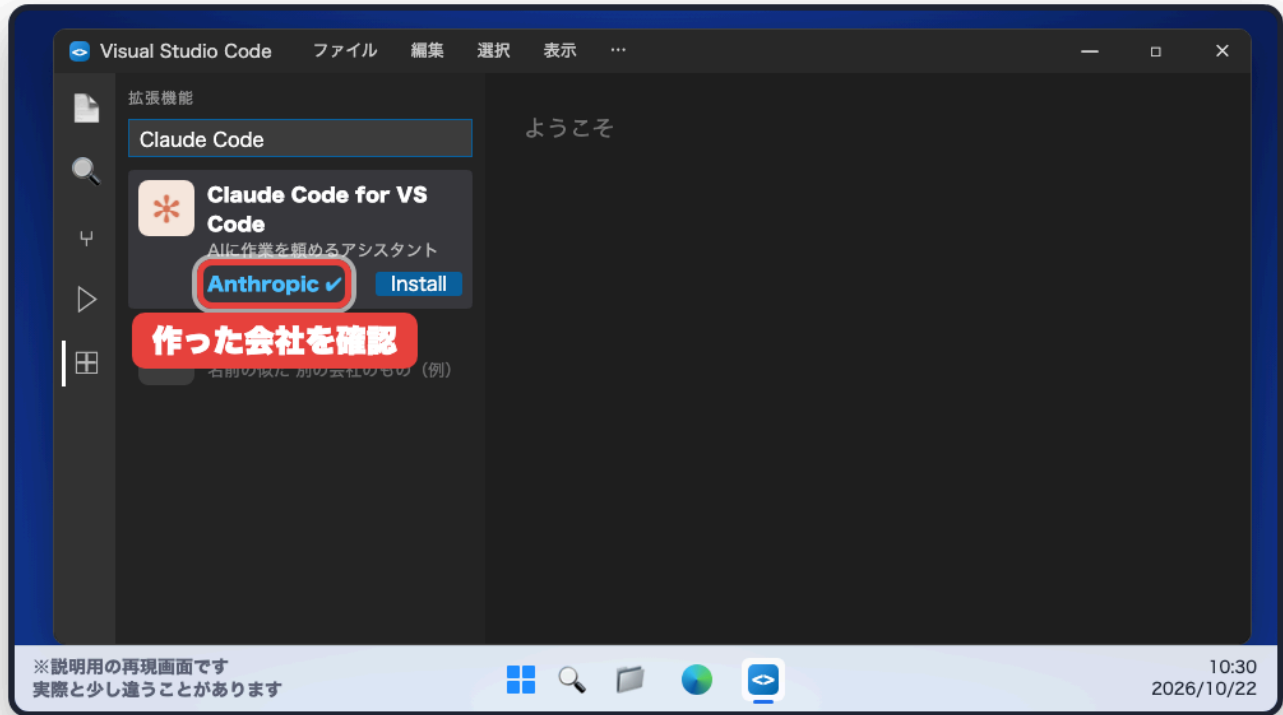


6

作った会社が「Anthropic」か必ず確認

名前の下に **Anthropic ✓**（認証済み）と出ているものを入れます。

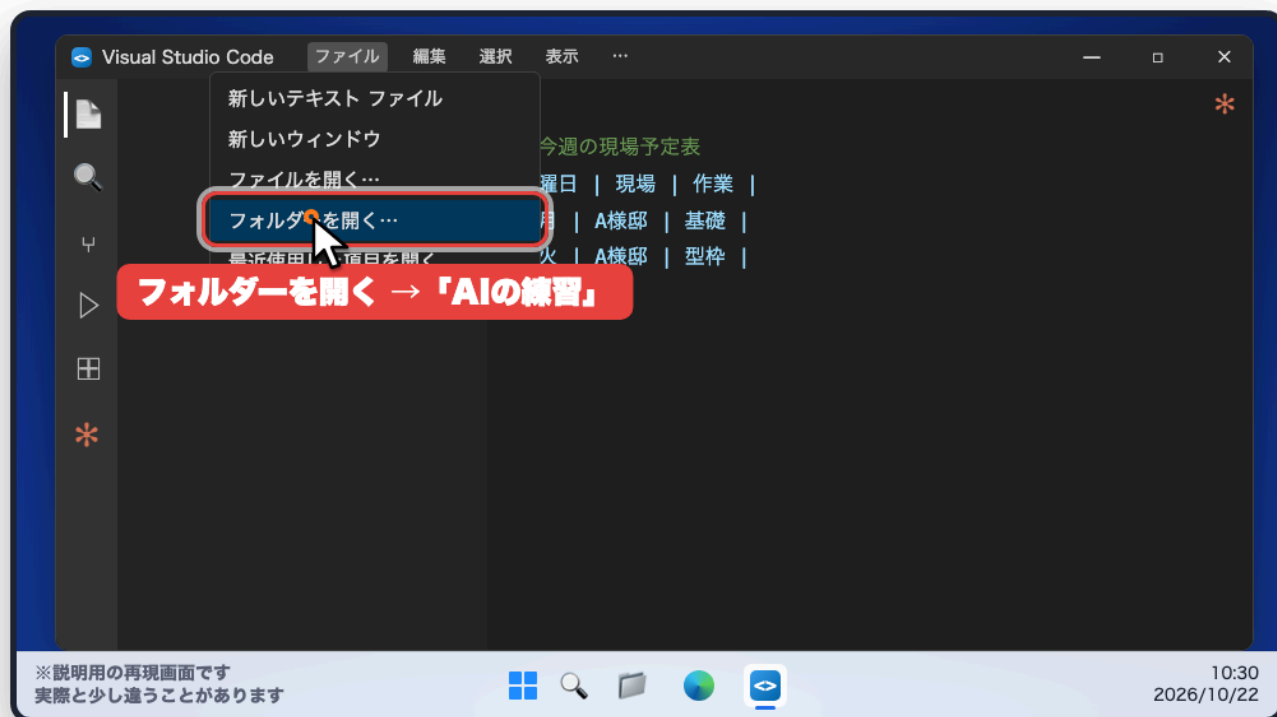
△ 名前の似た、別の会社の拡張機能もあります。Anthropic 以外のものは入れないでください。



7

「ファイル」 → 「フォルダーを開く」 → 「AIの練習」

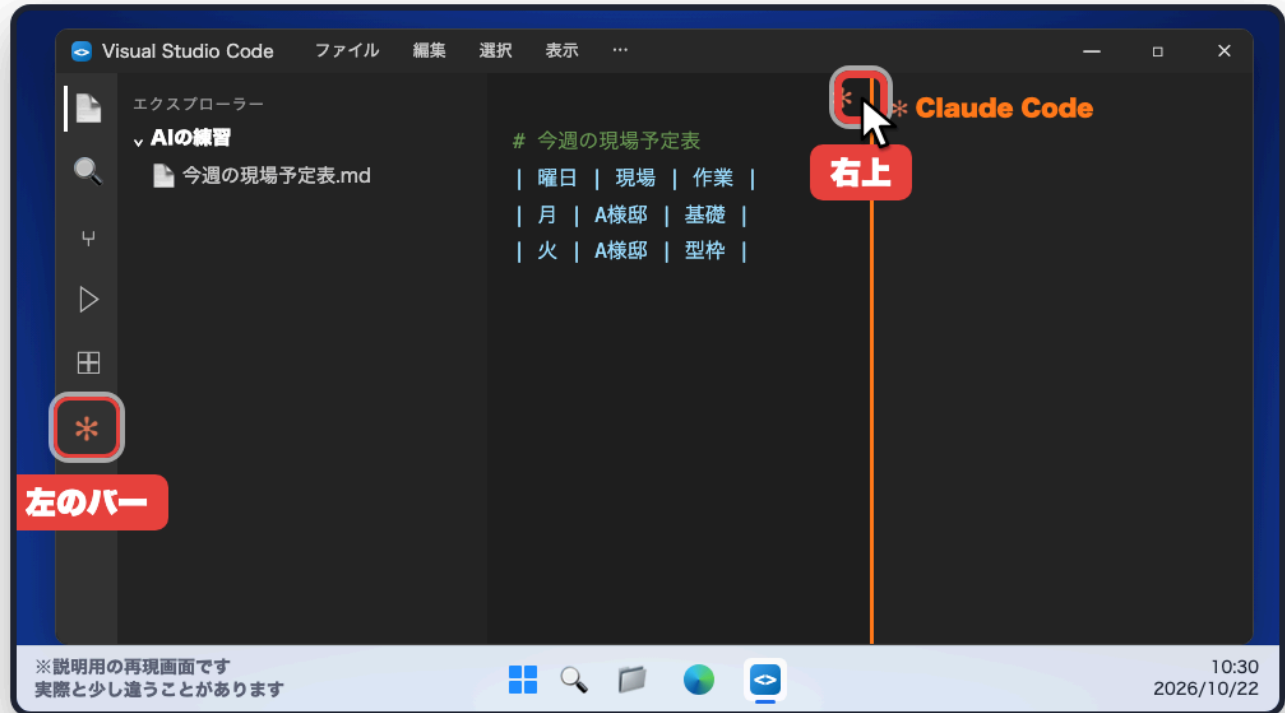
練習用のフォルダを開きます。



💡 「このフォルダー内のファイルの作成者を信頼しますか？」と出たら、自分で作った練習用フォルダなので「はい、作成者を信頼します」を選びます。

8 星のようなマーク（*）を押す

右上（ファイルを開いているとき）か、左のバーにある * が Claude Code です。押すと、右に会話の欄が開きます。



💡 見つからないときは、右下の「* Claude Code」を押しても開きます。

9

「Claude.ai Subscription」を選んでログイン

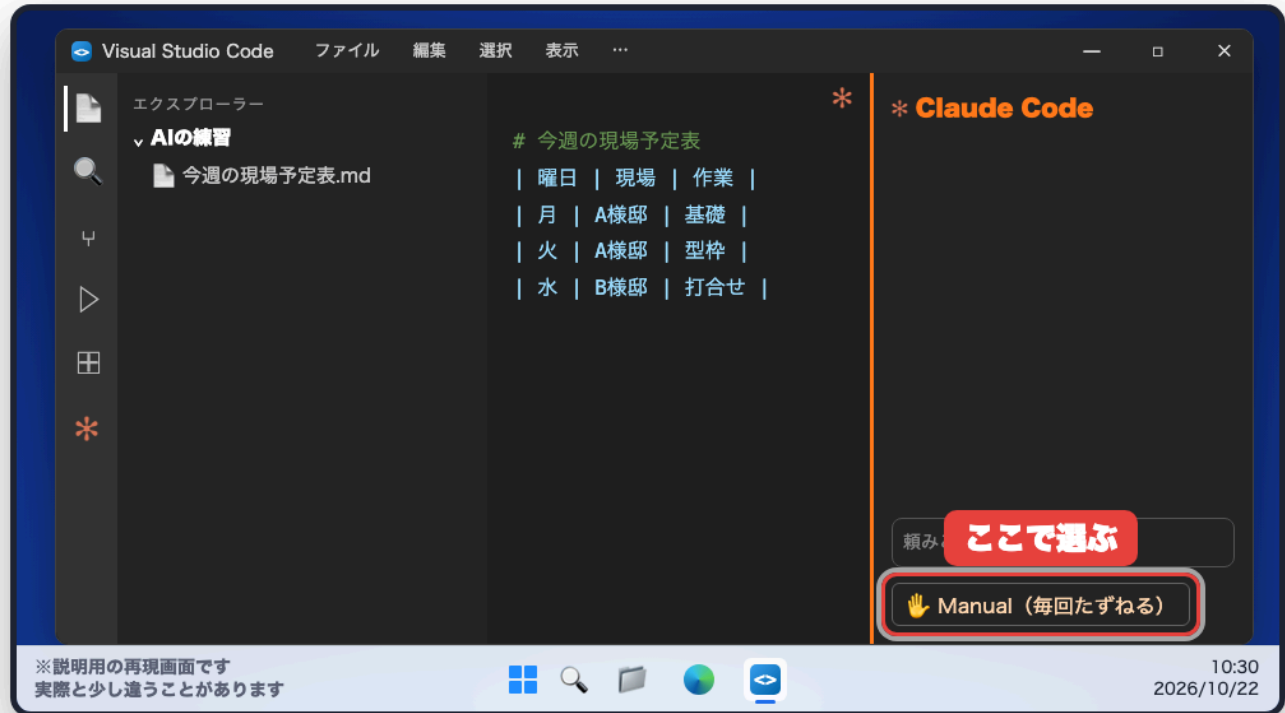
初めてのときはログインの画面が出ます。「Claude.ai Subscription」を選ぶと、ブラウザが開くので許可します。



💡 API キーは不要です。Claude の有料プランのアカウントでログインします。

10 最初は「Manual」（毎回たずねる）

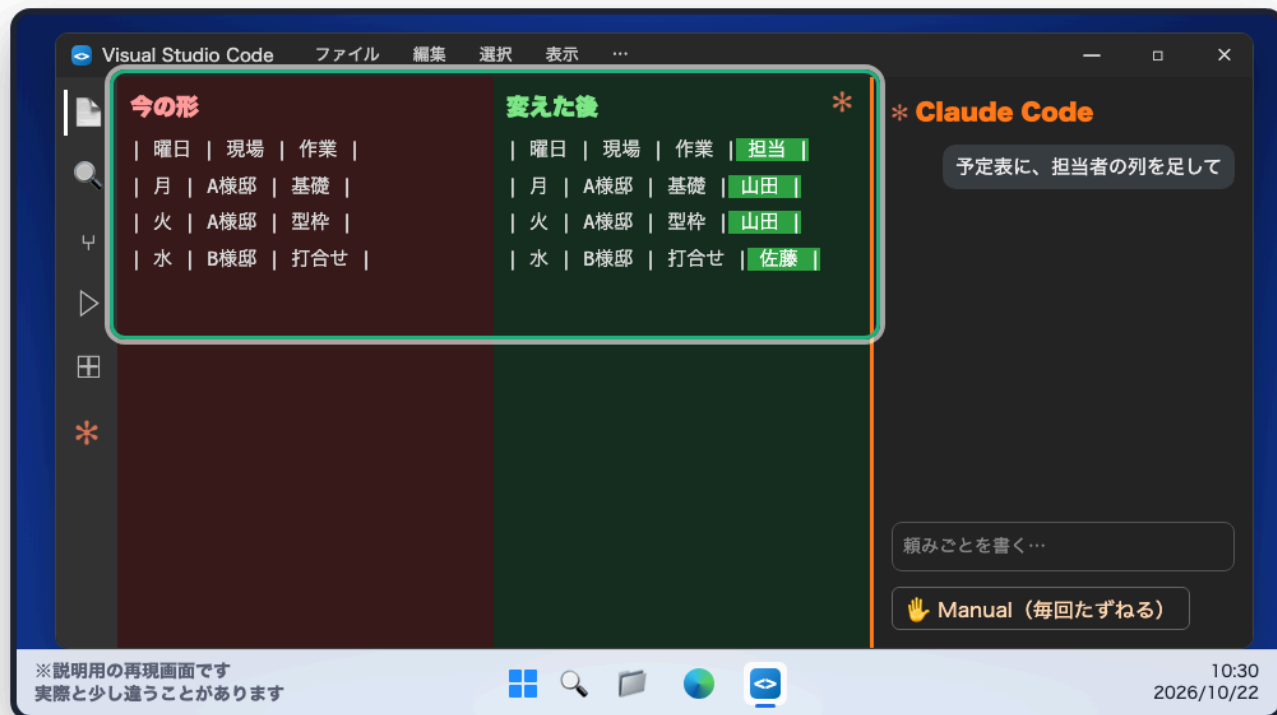
頼む欄の下で、動き方を **Manual** にします。AI がファイルを変える前に、必ず聞いてくれます。



💡 Edit automatically（自動で編集）・Plan・Auto は、慣れてから。

11 頼むと、左右で見比べられる

たとえば「予定表に、担当者の列を足して」。左に今の形、右に変えた後の形が並んで出ます。



12 読んでから「Yes」

「Make this edit to …? (この変更をしますか?)」と聞かれたら、よければ **Yes**。違うときは **No** を選んで、どうしてほしいかを書きます。



うまくいかないとき

拡張機能を入れたのに * が出ない

VS Code を再起動します。または Ctrl+Shift+P → 「Developer: Reload Window」。

VS Code が古い

拡張機能には VS Code 1.94 以上が必要です。「ヘルプ」→「更新の確認」で最新にします。

ログインの画面が出ない／やり直したい

会話の欄で /login と入力するか、Ctrl+Shift+P → 「Developer: Reload Window」。

付録：VS Code の中の「ターミナル」で使う方法（慣れてきた方へ）

A

ターミナルを開く

フォルダ「AIの練習」を開いた状態で、**Ctrl+@**（英語キーボードは Ctrl+`）。画面の下にターミナルが開きます。このターミナルは、開いているフォルダの場所で動きます。

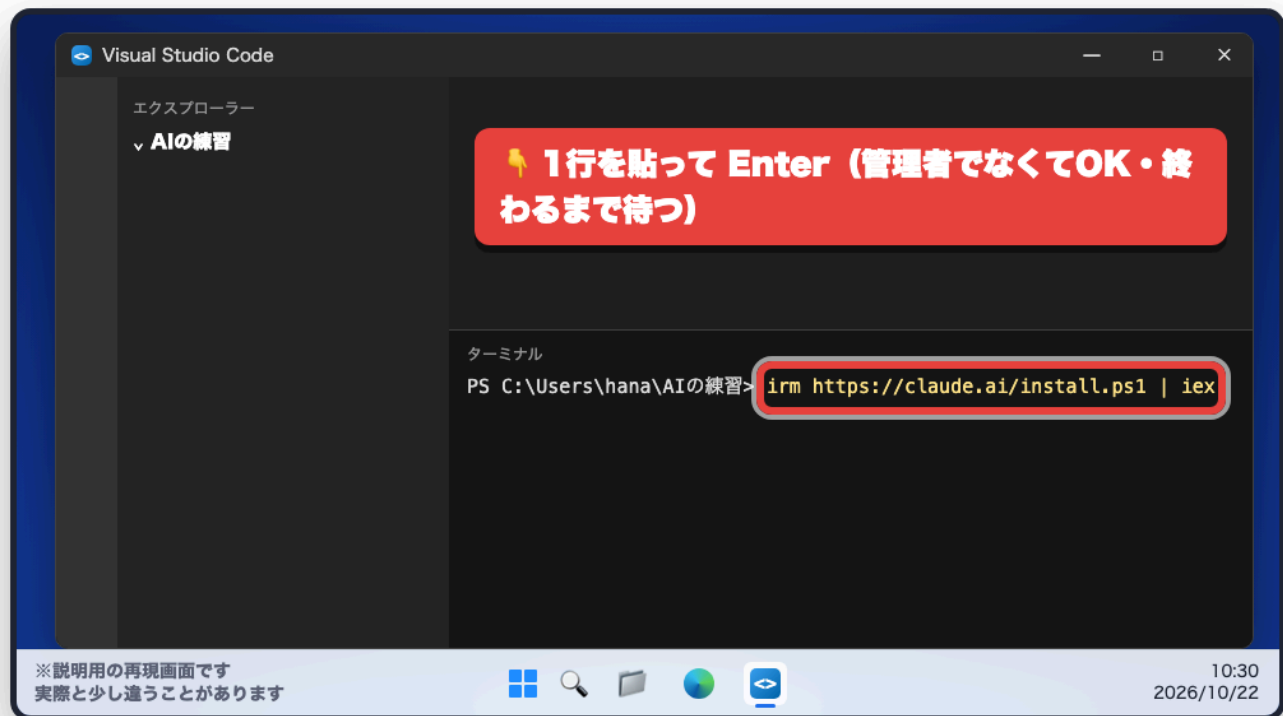


B Claude Code を入れる（まだの人だけ）

次の1行を貼って Enter。

```
irm https://claude.ai/install.ps1 | iex
```

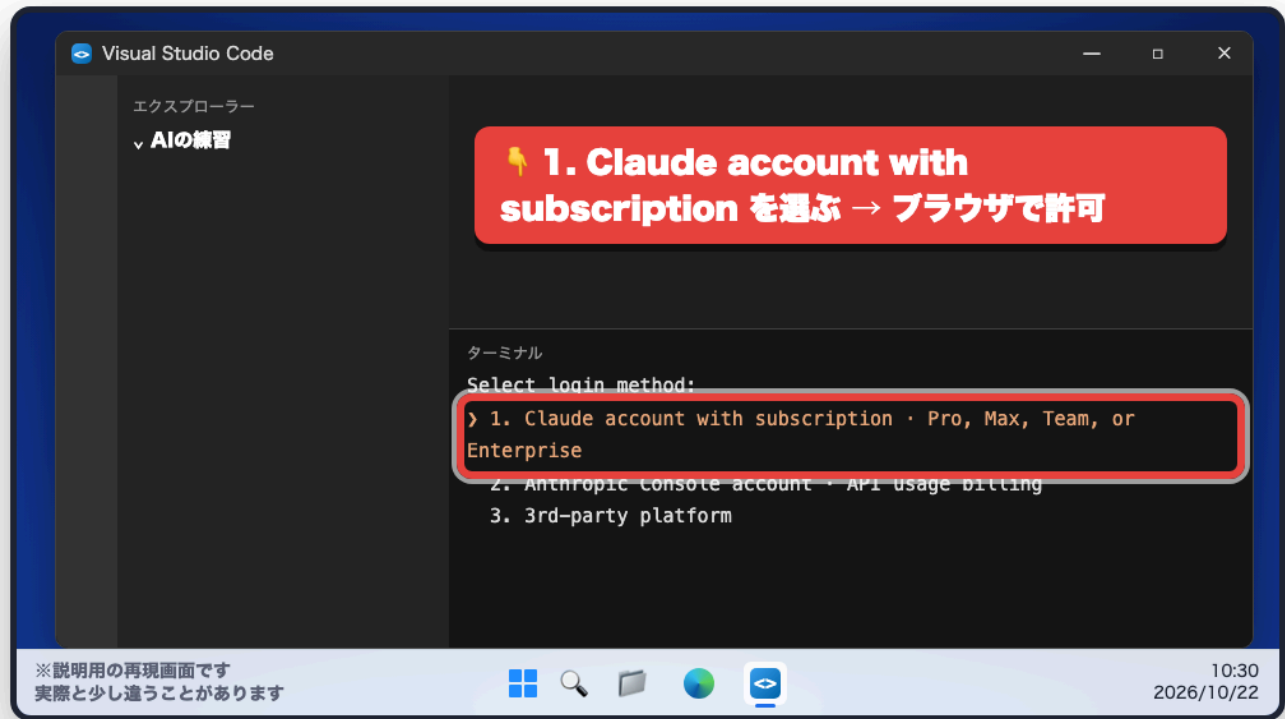
終わったらターミナルを開き直します。①の手順書の付録と同じです。





「claude」と打って、ログイン

claude と打って Enter。初めては見た目を選び、「1. Claude account with subscription」を選ぶとブラウザが開くので許可します。ファイルの中身は左の一覧で見ながら、作業はターミナルで頼めます。



💡 VS Code 中のターミナルで claude を動かすと、拡張機能もつながり、右上の * からも使えるようになります。

次の一歩

- 動画で見る：[会社のAI導入講座 #7 「Claude Codeの入れ方 Windows版」](#)
- 入れ終わったらチェック：[入れ方チェックシート（無料）](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ①デスクトップアプリ（Windows）](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ③エディタ Cursor（Windows）](#)
- 会社のパソコンへの入れ方・社内ルールづくりの相談：[無料診断](#)

Claude・Claude Code は Anthropic の製品です。この手順書は Anthropic とは関係のない、個人の解説です。VS Code は Microsoft、Cursor は Anysphere の製品です。自由に社内でお使いください（社外への再配布はご遠慮ください）。